

ムハンマドの (半)

:

明:

ユダヤ人 神 者が、イスラ ムが によって まったという概念について ります。 半: イスラ ムの 播と、ムスリムの 治を、キリスト教のものとは比 します。

目: [事比 宗教イスラ ムの包容力](#)

より: ウリ アヴネリ

日 10 Oct 2011

集日 10 Oct 2011

教皇自身も警告の言 を しました。 かつ著名な神学者として、彼は明文を改ざんすることは出来ませんでした。それゆえ、彼はクルア ンが 制によって信仰を めることを明 に禁じていることを めたのです。彼は第2章256 (教皇は えました、 には257) を引用しました:

????????????????

このような 定的主 を、 が 出来るでしょうか? 教皇は、この命令がただ、まだ 言者が 力のなかった使命の初期に下されたものであり、 に信仰を めるための使用を命じたのだと じます。そのような命令はクルア ンのなかには存在しません。 、ムハンマドは国家形成期において、アラビア半 の 部族(キリスト教徒、ユダヤ教その他)との 争 に の使用を呼びかけましたが、それは国政上の行 であり、宗教的なものではありません。つまり 土争いのものであり、信仰を めるためのものではありませんでした。

イエスはこう言いました: 「あなたは、その果 によって彼らを するであろう。」イスラ ムによる他宗教への 遇は、 な によって判断することが出来ます。つまり、1000年以上前から「 によって信仰を める」ことの出来たムスリム 政者が、 にはいかに振る舞ったかを かめるのです。

には、彼らはそうしなかったのです。

数世に渡り、ムスリムたちはギリシャを支配しました。ギリシャ人たちはムスリムになったのでしょうか？あるいは、かが彼らをイスラムへ改宗させるみすらあったのでしょうか？逆に、ギリシャ人キリスト教徒たちは、オスマン朝における行政の高官という地位を得ていたのです。ブルガリア人、セルビア人、ルマニア人、ハンガリ人、及びにその他のヨーロッパ国は、一はオスマン朝の支配下となりましたが、彼らのキリスト教信仰は保たれていました。も彼らを理やりムスリムにしようとはせず、彼らは皆、敬虔なキリスト教徒として生活することをされたのです。

かに、アルバニア人やボスニア人はイスラムに改宗しました。しかし、彼らが迫されそうしたのではないことはの目にも明らかです。彼らがイスラムを容したのは、政府による遇を受け、その果を得るためでした。

西1099年、十字はエルサレムを征服し、慈深きイエスの名のもとに、そこに住んでいたムスリムとユダヤ人を差に戮しました。当、ムスリムによるパレスチナ占から400年がしていましたが、キリスト教徒の人口は依然として半数を超えていました。こうしたい期のなかで、彼らにイスラムを押し付けるきはなかったのです。十字の逐、居住者の大半がアラビアとムスリムの信仰を受け入れ始めたのです。そして彼らこそが、今日の大半のパレスチナ人の祖先にあたるのです。

ユダヤ人にイスラムを制したというは、全く残っていません。スペインにおけるユダヤ人は、ムスリムによる治下によって、今日以外では、それまでどの地においても味わうことのなかった自由の花を享受したのです。人イエフダハレヴィやマイモニデスは、アラビアでそのことをしています。ムスリム治下のスペインで、ユダヤ人は大臣、人、科学者などをしていました。ムスリム治下のトレドでは、キリスト教、ユダヤ教、ムスリム学者らが一になって古代ギリシャ哲学や科学の翻をめていました。に、当は黄金期だったのです。もし本当に、言者が「による信仰の播」を命じていたのなら、これは可能だったのでしょうか？

そのに起こった出来事は、より多くを物ります。カトリック教会がムスリム治だったスペインを再征服したときは、宗教的テロの支配を制度化したのです。ユダヤ人とムスリムは、キリスト教徒になるか、虐されるか、または逃亡するかという酷い肢が与えられたのです。信仰の放を拒否した数万人のユダヤ人はどこに逃亡したでしょう？彼らのほぼ全は、ムスリム国によって大手をげて迎されたのです。セファルディムユダヤ人（スペイン系）は、西はモロッコ、はイラク、北はブルガリア（当はオスマン帝国の一部でした）、南はスダンといった、ムスリム世界の全般に渡って定住しました。彼らはそれらのどこに行っても迫害されることはありませんでした。彼らは端での拷、火刑、ポグロム（集虐）、または最近ではホロコストのような、キリスト教国のほぼすべてで行われていた集追放などのようなことはしなかったのです。

それはなぜなのでしょう？なぜならイスラムは「典の民」へのいかなる迫害をも明に禁じているからです。イスラム社会において、ユダヤ教徒とキリスト教徒には特別な地位が与えられているのです。彼らは完全に同等の利を与えられていたではありませんが、それに非常に近いものでした。彼らは人税をわねばなりませんでしたが、のが免除されており、それは多くのユダヤ人たちにとっては迎すべき折り合いだったのです。ムスリムの政者たちは、たとえ丁な得によってでもユダヤ教徒たちをイスラムに改宗させるみに色を示したと言われていています。なぜならそれは税の失を意味したからです。

自分たちの史を知るすべてのユダヤ教徒たちは、彼らを「によって」迫害し、信仰をおうとみたキリスト教徒たちにはではなく、50世代にも渡ってユダヤ教徒たちを保しけてきたイスラムにする深い感の念を抱かずにはいられないのです。

「によって信仰をめた」というはなであり、キリスト教徒によるスペインのレコンキスタ、十字征、そしてウィンを制しそうになったトルコ人への嫌感から、ムスリムにする争にヨロッパでめられたでっちあげなのです。私はドイツ人教皇も、この寓を心から信じていたとています。これは、キリスト教神学者でもあったカトリック世界の指者が、他宗教の史を学ぶ努力をしなかったことを意味しています。

なぜ彼は公の所でこれらの言を放ったのでしょうか。そしてなぜ今？

「イスラムファシズム」や「テロ争」といったスロガンを げるブッシュとその音主の支援者らを新たな十字となすことは避けいものです。「テロリズム」はムスリムと同じにされています。ブッシュの目らにとって、これは世界の石油源の支配を正当化するひねくれたみなのです。 的利の露出を宗教的外套によって包みすことは、史上初めてのことでありません。 者による 征が十字のそれとなったのは、初めてのことでないのです。

教皇のスピチは、こうした努力に和します。悲惨な果を予出来るのは でしょうか？

Footnotes:

1

「典の民」だけでなく、それ以外のすべての人々の する抑も含まれます。 IslamReligion

2

ノンムスリムにしてされた税は他の公的所得に比べると微々たるものだったため、著者はここで った主をしてい
スリムたちは他者がイスラムに入ることを 励し けてきましたし、これからもそうし けるでしょう。 IslamReligion

3

注意：この著者による意 解は、その全てがIslamReligionと同じものであるとは限りません。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/514>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。